

令和5年度

学 生 募 集 要 項

【 一 般 選 抜 (前期日程・後期日程)】

(インターネットによる出願受付)



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者選抜日程・選抜方法等について変更がある場合は、本学ホームページ (<https://sun.ac.jp/>) でお知らせします。

お問い合わせ先

長崎県立大学 学生支援課 学生グループ

【経営学部・地域創造学部】佐世保校

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地

Tel 0956-47-5703 / Fax 0956-47-4616

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】シーボルト校

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

Tel 095-813-5065 / Fax 095-813-5222

【目 次】

インターネット出願について	1
1. 理念と教育目的、学生受け入れ方針等	
(1) 長崎県立大学の理念と教育目的、学生受け入れ方針	2
(2) 経営学部	3
(3) 地域創造学部	5
(4) 国際社会学部	7
(5) 情報システム学部	8
(6) 看護栄養学部	10
2. 募集人員	13
3. 出願資格	14
4. 出願手続	15
5. 選抜方法等	18
6. 合格発表	28
7. 入学手続	28
8. 追加合格	29
9. 受験上の配慮について	29
10. 初年度納付金等	29
11. 個別の入学資格審査	31
12. 入試情報開示	31
13. 評価・合否判定基準	32
14. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮等	34
15. 個人情報の利用	35

インターネット出願について

長崎県立大学ではすべての入試においてインターネット出願を導入しています。
調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類がありますのでご注意ください。

■ 出願の流れ

1) 事前準備

パソコンまたはスマートフォンで大学ホームページ（本学 HP）の「インターネット出願はこちら」にアクセスし、インターネット出願システム「Post@net」のログインページから新規登録を行ってください。登録後、Post@net にログインし、長崎県立大学を選択し、『はじめに』から「インターネット出願ガイド」をダウンロードしてください。

2) 出願に必要な書類などを準備

「インターネット出願ガイド」を参照して、出願に必要な書類などを準備してください。なお、出願登録の際に、顔写真データ（JPG、3 MB 未満）が必要になりますので、予めご準備ください（上半身／無帽／正面向き／背景無し／カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの）。

3) 出願登録を行う

Post@net で本学を選択し、『出願』から画面の指示に従って登録内容を入力してください。

登録内容

①出願情報（入試区分・志望学部学科等）、②志願者情報

③検定料支払方法

※②の志願者情報入力後、【出願確認票（未入金）】をダウンロードしてください。

【出願確認票（未入金）】は学校の先生、保護者の方の確認用としてもご利用ください。

《支払方法》

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM（ペイジー）

◎ネットバンキング（ペイジー）

4) 検定料を支払う

選択した支払方法に従って、**支払期限までに**検定料（17,000 円）を支払ってください。

※別途、振込手数料（600 円）が必要です。

5) 出願書類の印刷・郵送

検定料の支払い後、Post@net の『出願内容一覧』に入り、本学の『出願内容を確認』から、各種様式をダウンロードし、A4 で印刷してください。

本要項に記載されている出願手続きに従って、必要書類及び封筒等を準備し、「出願書類提出期限」に間に合うように郵送してください。

6) 出願完了

1. 理念と教育目的、学生受け入れ方針等

(1) 長崎県立大学の理念と教育目的、学生受け入れ方針

◆長崎県立大学の理念と教育目的

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、大学の教育理念・目的を達成するために、本学の学位授与の方針やカリキュラム編成の方針を理解し、主体的かつ積極的に学ぶことができる以下のような人を求めています。

- 高等学校の教育課程で学習する内容に関する幅広い知識を有する人
- 高等学校の教育課程で獲得する知識やスキルを活用できる人
- 多様性を理解し、他者と協働する力を有する人
- 人や自然を尊重できる人
- 何事にも好奇心を持ち、積極的に挑戦したいと考えている人
- 目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人
- 長崎の歴史・文化や地域的特性に関心をもっている人
- 地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

また、長崎県立大学では、高大接続の観点を踏まえつつ、学部・学科の特性に応じて各種の選抜方法を実施します。

(2) 経営学部

【教育目的】

現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 経営に関する専門的・総合的な視野を備え、企業の経営における様々な課題を理解し、分析・解決できる人材
- 外国語を用いたコミュニケーション能力と国際的な視野を備え、グローバルに活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 経営、マーケティング・流通、会計・簿記などに関心を持つ人
- 国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人
- 経営に関する企画・立案力を高めて、地域社会や国際社会の成長に貢献したい人
- 語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人

経営学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

<p>経 営 学 科</p>	<p>【教育目的】 企業をはじめとする組織の経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業等の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営、マーケティング、会計等に関する知識・知見を有し、企業の各分野において活躍できる 人材 ○事業を立ち上げるなどして地域で活躍できる人材 ○経営、会計等に関する知識・知見を有し、大学院に進学したり教員として活躍したりできる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●経営に関する専門知識を学び、企業をはじめとする組織を立ち上げたり、企業等の成長に貢献したりしたい人 ●マーケティング・流通に関する専門知識を学び、小売・サービス・金融・運輸などの分野で活躍したい人 ●会計・簿記の専門知識を学び、税理士や企業等の会計部門で活躍したい人 ●経営に関する企画・立案能力を高めて、地域社会の成長に貢献したい人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●総合型選抜 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（4教科4科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では、出願書類を参考に、本学科で学修・研究したい地域課題への目的意識や意欲、高校時代にその課題に関わった経験等をみて、総合的に評価します。</p>
----------------	---

<p>経 営 学 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学校推薦型選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
<p>国 際 経 営 学 科</p>	<p>【教育目的】 現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力及び国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営に関する知識・知見及び外国語を用いたコミュニケーション能力を有し、東アジア地域をはじめ海外展開をする企業や団体に活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際的な経営に関する専門知識を学び、グローバルに活動する企業で活躍したい人 ●語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人 ●他国の人とも協働しながら経営に関する企画・立案能力を高めて、国際社会の成長に貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜 個別学力検査等（英語）で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(3) 地域創造学部

【教育目的】

地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 地域社会や地域経済が抱える様々な課題を専門的、総合的視野に立って理解し、分析・解決できる人材
- リーダーシップを有し、他者と協働して地域社会や地域経済のあり方を創造できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 地域社会や地域経済の様々な課題について、それらの課題解決に向けて取り組むために必要な基礎的知識と探究への好奇心を身に付けている人
- 地域創造に関心を持ち、そのために必要な知識を理解し、論理的に表現できる能力を有する人
- 課題解決などに対して、主体的に他者と協働して取り組むコミュニケーション能力と、意欲を有している人

地域創造学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

<p>公共政策学科</p>	<p>【教育目的】</p> <p>公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <p>○公共政策に関する知識・知見を有し、地方自治体等において活躍できる人材</p> <p>○公共政策に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高等学校までに習得した知識・情報・探究力をつなぎ合わせて、地域社会の様々な問題について、筋道を立てて考え、文章化するなど、論理的に説明することができる人 ●学科の教育課程で学ぶ諸学問分野の知識を習得する上で基本となる理解力を有する人 ●公共の問題に関心を有し、地域社会の諸課題について多様な人々と積極的に話し合える柔軟性と主体性を有する人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜（県内離島高校区分を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（4教科5科目）を課すとともに、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（県内離島高校区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、集団面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲を個別に確認し、集団討論では積極性、協調性、論題についての理解力から、本学科が提供する専門分野に対する適性などを見極め、総合的に評価します。
---------------	--

<p>公共政策学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
<p>実践経済学科</p>	<p>【教育目的】 企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、地域企業において活躍できる人材 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●地域経済や企業動向などの分析による課題解決方法を学びたい人 ●経済学や地域経済に関する知識を学び、地域企業等で活躍したい人 ●地域企業のグローバルな事業展開に関心を持つ人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜（県内商業科等区分を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（県内商業科等区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(4) 国際社会学部

【教育目的】

国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 現代社会が直面する諸課題をグローバルな視野でとらえ、地域社会や国際社会で活躍できる人材
- 高いコミュニケーション能力と情報収集・分析及び批判的・論理的思考能力を備え、自治体や企業の国際部門・メディア産業等で活躍できる人材
- 東アジア地域に関する知見を深め、グローバルな交流の促進や地域社会の発展に寄与できる人材
- グローバル社会やメディア社会に関する知識を有し、教員として活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- グローバル社会やメディア社会など現代の様々な特性や仕組みについて幅広い関心を持つ人
- グローバル化する地域社会における様々な問題を解決しようとする意欲を持つ人
- 現代社会におけるメディアの役割に関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
- 東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心としたグローバルな交流の推進に貢献したい人
- 英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

国際社会学科	<p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none">●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。●総合型選抜 第1次選考では、出願書類に基づき、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。 第2次選考では、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。●学校推薦型選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
--------	--

(5) 情報システム学部

【教育目的】

情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材
- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 情報技術、情報デザイン技術、情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

情報システム学部の入学選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

情報システム学科	<p>【教育目的】 情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材 ○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人 ●多様なコンテンツを制作する知識を深め、情報デザインのための技術や感性を高めた人 ●情報技術や情報デザイン技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人</p> <p>【入学選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>
----------	---

【教育目的】

情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。
 ○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人
- システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人
- 情報技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。

●一般選抜（前期日程、後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

●学校推薦型選抜

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●帰国子女特別選抜

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●社会人特別選抜

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●私費外国人留学生特別選抜

本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(6) 看護栄養学部

【教育目的】

人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康科学の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 看護師または管理栄養士として、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材
- 保健・医療・福祉の分野で、他職種と協働して専門的能力を発揮できる人材
- 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または子どもたちの食育を担う栄養教諭として、教育現場で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
- 人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
- 科学を重視し、適確に物事を行える人
- 社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
- 協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看護栄養学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

看護学科	<p>【教育目的】 生命の尊厳と人権を尊重し、人間を深く理解し根拠に基づき行動する看護師や養護教諭として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○人々の健康ニーズ(健康増進、疾病予防・早期発見、健康回復、安寧な人生の看取り)に対応できる基礎的看護実践能力を有する看護師 ○保健・医療・福祉の分野で看護サービスの質向上に寄与できるリーダーシップの基礎的能力を有する看護師 ○看護の専門性を備えた教育職として活躍できる養護教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●看護を通して、人々の健康生活に貢献したいと思っている人 ●物事を科学的に探究し、積極的・主体的に学ぶ姿勢がある人 ●看護学への学習意欲を持ち、専門性の高い看護職になりたいと希望している人 ●さまざまな世代の人々と、柔軟にコミュニケーションがとれる人 ●他者を尊重する姿勢を持ち、協働して活動できる人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、論理的思考力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</p>
------	---

<p>看護学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性、離島医療に対する貢献意欲等を総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、提示した素材により、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。
<p>栄養健康学科</p>	<p>【教育目的】 健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる栄養専門家として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○地域の人々の健康作りの担い手としての管理栄養士 ○高齢社会の食を支える管理栄養士 ○臨床現場で他のスタッフと連携・協働して栄養マネジメント・アセスメントを実践できる管理栄養士 ○特定給食施設で栄養マネジメントを実践できる管理栄養士 ○食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理者などの資格を活かせる管理栄養士 ○次世代社会の子どもたちの食育を担う栄養教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価し、面接では、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。 ●学校推薦型選抜 課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 さらに、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価し、小論文の評価と合わせて合否を判断します。ただし、一定の基礎学力を有する者が対象となります。 基礎学力は、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）で評価します。</p>

<p>栄養健康学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●帰国子女特別選抜 課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、日本の高等学校の教育課程で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。
---------------	---

2. 募集人員

(単位：人)

区 分		募 集 人 員									
		経営学部		地域創造学部		国際社会学部	情報システム学部		看護栄養学部		
		経営学科	国際経営学科	公共政策学科	実践経済学科	国際社会学科	情報システム学科	情報システム学科	看護学科	栄養健康学科	
総合型 選抜	県内	6				5					
	県外	4									
学校 推薦型 選抜	県内	普通科等	20	12	15	25	15	10	20	16 (離島看護師 特別枠 3名 含む)	10
		商業科等	10			5					
		離島高校			5						
	県外	普通科等	10	8	10	15	4	2			
		商業科等	5								
一般選抜	前期日程		70	30	(英)* 40 (数)* 20	(英)* 40 (数)* 25	30	20	40	38	24
		後期日程	15	10	30	20	6	8	20	6	6
特別選抜	帰国子女	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	社会人	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	私費外国人留学生	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
学 科 計		140	60	120	130	60	40	80	60	40	
学 部 計		200		250		60	120		100		
合 計		730									

【地域創造学部】

※ 前期日程は「英語」又は「数学」で個別学力検査等を実施するものであり、出願時に選択を行う必要があります。

【共通】

総合型選抜及び学校推薦型選抜における、県内・県外の別は志願者の出身高校の所在地（都道府県）によって判断します。

また、各学科の特別選抜（帰国子女、社会人、私費外国人留学生）の募集人員（若干名）は、各学科の募集人員の内数です。

3. 出願資格

令和5年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目（19～25 ページを参照）を受験した者（「外国語」において『英語』を選択した者はリスニングも必ず受験すること。ただし大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除く）で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者又は令和5年3月31日までに合格見込みの者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者

※ 他大学において入学資格認定を受け、令和5年度大学入学共通テストに出願した者で、改めて本学へ出願を希望する者については、令和5年1月16日までに本学に入学資格認定申請を行い、入学資格認定を受ける必要があります。詳しくは本学学生支援課までお問い合わせください。

(注1) 本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験しなかった場合は、個別学力検査等を受験できません。

(注2) 前期日程、後期日程の両方に出願することができます。

(注3) 同一日程に属する他の国公立大学・学部への出願（いわゆる重願）はできません。

(注4) 他の国公立大学・学部（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の総合型選抜及び学校推薦型選抜合格者は、本学に出願しても合格者とはなりません。ただし、入学辞退について当該大学の許可を得た場合は、この限りではありません。

(注5) 本学又は他の国公立大学・学部の一般選抜（前期日程）に合格し、令和5年3月15日までに入学手続きを行った者は、公立大学中期日程試験又は国公立大学後期日程試験を受験してもその合格者となることはできません。

(注6) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、可否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供されます。

4. 出願手続

(1) 出願登録期間・検定料支払期限・出願書類提出期限

日程	出願登録期間	検定料 支払期限	出願書類 提出期限※
前期日程	R5.1.23 (月) ~R5.2.3 (金)	R5.2.3 (金) 17:00 まで	R5.2.3 (金) 消印有効
後期日程	17:00 まで		

※持参の場合：R5.2.3 (金) 17:00 まで

(2) 出願方法

①長崎県立大学ホームページにアクセスし、「インターネット出願はこちら」から、出願してください。

<https://sun.ac.jp/>

※Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンから、アカウントを作成してください。

※Post@net の本学のページに掲載の『はじめに』をよく確認してください。

※《アカウント作成 ⇒ 出願登録 ⇒ 検定料の支払い ⇒ 出願書類の提出》で出願手続が完了します。

②出願書類等は検定料支払後にダウンロードが可能になる【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた角2封筒に入れ、必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。なお、**出願書類提出期限までの消印があるもの**に限り受理します。持参する場合の受付時間は、平日の9時から17時までとします。

※高等学校等が一括して提出する場合であっても、必ず志願者ごとに【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた角2封筒に入れ、上記出願書類提出期限内に提出してください。

(3) 出願先

経営学部 (経営学科、国際経営学科) 地域創造学部 (公共政策学科、実践経済学科)	〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ
国際社会学部 (国際社会学科) 情報システム学部 (情報システム学科、情報セキュリティ学科) 看護栄養学部 (看護学科、栄養健康学科)	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(4) 出願書類等

出願書類は、「インターネット出願システムから印刷するもの」と、「志願者が各自で準備するもの」があります。

○ インターネット出願システムから印刷するもの

※ 検定料の支払い後に、「インターネット出願 入金完了」メールが届いたら、Post@net にログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして、【出願確認票(入金済)】、【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズの用紙に印刷してください。

出願書類等	摘 要
令和5年度 長崎県立大学 出願確認票 【入金済】	<p>① 出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。</p> <p>② 必ず【入金済】と記載された出願確認票を利用してください。 ※ 【未入金】と記載された出願確認票は志願者本人、保護者、高校教員等の確認用に利用し、大学に郵送しないでください。</p> <p>③ 成績請求票貼付欄には「令和5共通テスト成績請求票」をはがれないようのり付けしてください。</p>
封筒貼付用 宛名シート	<p>① 出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。</p> <p>② カラーまたは2色刷りで印刷してください。</p> <p>③ 出願書類は宛名シートを貼り付けた市販の角2封筒(240mm×332mm)に入れ、封をしてください。封筒の色は問いません。 ※ 封筒貼付用宛名シートが出力できない場合は、直接封筒に以下の内容を記入し、簡易書留・速達で郵送してください。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入試区分 ・ 学部・学科 ・ 出願登録番号 ・ 志願者情報(郵便番号、住所、氏名、フリガナ) ・ 『入試出願書類在中』(朱書き) ・ 出願先住所 <p>志望学部によって(3)出願先のいずれかの住所を記載してください。</p> </div>

○ 志願者が各自で準備するもの

出願書類等	摘 要
調査書等	<p>・ 高等学校又は中等教育学校卒業(見込)者</p> <p>・ 高等専門学校第3学年修了(見込)者</p> <p>調査書 ※ 文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p>
	<p>・ 外国における12年の課程修了(見込)者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>成績証明書</p>
	<p>・ 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格(見込)者</p> <p>合格成績証明書又は合格見込成績証明書 ※ 高等学校等に在学したことのある者は、在学期間の成績証明書を併せて提出してください。</p>
	<p>・ 国際バカロレア資格取得者</p> <p>・ アビトゥア資格取得者</p> <p>・ バカロレア資格(フランス共和国)取得者</p> <p>・ 専修学校の高等課程卒業(修了)者又は卒業(修了)見込者</p> <p>成績証明書</p>
	<p>・ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程修了(見込)者</p> <p>調査書 ※ 文部科学省所定の様式に準じて施設長が作成し、厳封したものを提出してください。</p>

(注1) 高等学校生徒指導要録の保存期間(入学、卒業等の学籍に関する記録(各教科・科目等の修得単位数の記録を含む。))については卒業後20年、指導に関する記録については卒業後5年。)が経過したもの、及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、志望学部の学生支援課学生グループまで申し出てください。

(注2) 改姓により出願書類と調査書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。

(5) 出願上の注意事項

- ① 出願書類がすべてそろっていない場合は受付できませんので、出願の際には十分確認してください。
 - ② 志願者情報入力時の「併願大学 任意記入」欄は、志願者の動向を調査するために利用するもので、可否判定には関係ありません。
 - ③ 「前期日程」及び「後期日程」の両方に出願することができます。出願の際は、それぞれ個別に出願登録を行い、出願書類はそれぞれ別々に郵送してください。
 - ④ **出願書類郵送後は、記入事項の変更を認めません。**ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、志望学部の学生支援課学生グループまで連絡してください。
 - ⑤ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
 - ⑥ 一度受理した出願書類は返却しません。
 - ⑦ 既納の検定料は、次に該当する場合のみ返還します。
 - (ア) 出願書類を提出しなかった場合
 - (イ) 出願が受理されなかった場合
 - (ウ) 二重に振り込んだ場合
 - (エ) 出願受付後に、大学入学共通テスト受験科目の不足等により、出願無資格者であることが判明した場合
- ※ (ア)～(ウ)については17,000円相当額、(エ)については13,000円相当額の返還となります。
※ 上記理由による当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から40日以内とします。

(6) 受験票の準備

出願書類の受理、検定料の入金が確認されると、選抜期日の7日前を目途に「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届きます。メールが届いた後、Post@net にログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして「デジタル受験票」をダウンロードし、印刷して、大切に保管してください。受験票は受験時に必要ですので、必ず持参してください。

※ 選抜期日の7日前までにメールが届かない場合は、志望学部の学生支援課学生グループまでご連絡ください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。

(1) 個別学力検査等の期日、科目、試験時間

前期日程 令和5年 2月25日(土)

試験場	学部	学科	試験科目及び試験時間	
佐世保校	経営	経営 国際経営	英語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	地域 創造	公共政策 実践経済	英語または数学 10:00 ~ 11:30 (90分)	
シーボルト校	国際 社会	国際社会	英語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	情報 システム	情報システム 情報セキュリティ	数 学 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	看護 栄養	看護	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	面 接 12:30 ~ 17:00 (予定)
		栄養健康	化学基礎・化学 10:00 ~ 11:30 (90分)	

後期日程 令和5年 3月12日(日)

試験場	学部	学科	試験科目及び試験時間	
佐世保校	経営	経営	小 論 文 10:00 ~ 11:30 (90分)	
		国際経営	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	地域 創造	公共政策	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
		実践経済	小 論 文 10:00 ~ 11:30 (90分)	
シーボルト校	国際 社会	国際社会	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	情報 システム	情報システム 情報セキュリティ	数 学 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	看護 栄養	看護	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	面 接 12:30 ~ 17:00 (予定)
		栄養健康	化学基礎・化学 10:00 ~ 11:30 (90分)	面 接 12:30 ~ 17:00 (予定)

(2) 個別学力検査等会場

経営学部・地域創造学部： 佐世保校（長崎県佐世保市川下町123番地）

国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部：

シーボルト校（長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1）

※ 学部によって試験場が異なりますので、受験票の「試験場案内」をよく確認してください。

(3) 大学入学共通テストの利用教科・科目等及び個別学力検査等

科目の記載について『』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目とします。

各学部、学科の科目の利用方法については24～25ページの注意事項で確認してください。

経営学部

○経営学科

日程	大学入学共通テスト(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	100	100	100	100	50	100	200	650
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	小論文 (高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する試験問題)	合計
	配点	100	100	100	100	50	100	200	650

○国際経営学科

日程	大学入学共通テスト(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	100	50	100	100	50	200	200	700
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	100	50	100	100	50	200	200	700

地域創造学部

○公共政策学科

日程	大学入学共通テスト(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ) 又は 数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	100	100	100	50	200	300	950
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	200	100	100	100	50	200	300	950

○実践経済学科

日程	大学入学共通テスト(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ) 又は 数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	100	100	100	200	50	200	300	950
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	小論文 (高等学校で得た 基礎学力を前提 に、課題に対する 理解力、考察力、 論理的思考力及 び記述力を評価 する試験問題)	合計
	配点	100	100	100	200	50	200	200	850

国際社会学部

○国際社会学科

日程	大学入学共通テスト(5教科7科目又は8科目) 若しくは(6教科7科目又は8科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	100	100	100	100	50	100	200	650
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	100	100	100	100	50	100	200	650

情報システム学部

○情報システム学科

日程	大学入学共通テスト(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」、 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	100	100	200	100	200	300	1100
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」、 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	100	100	200	100	200	300	1100

○情報セキュリティ学科

日程	大学入学共通テスト(5教科6科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	50	200	100	200	300	1050	
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	50	200	100	200	300	1050	

看護栄養学部

○看護学科

日程	大学入学共通テスト(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 から1科目	『英語』	英語[100] (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ) 面接[100] (調査書等の出願書 類を参考に, 学習意 欲, 理解力, 表現力, 社会性等, 本学科が 提供する専門領域に 対する適性などを評 価。)	合計
	配点	100	50	100	50	100	200	600	
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 から1科目	『英語』	英語[100] (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ) 面接[100] (調査書等の出願書 類を参考に, 学習意 欲, 理解力, 表現力, 社会性等, 本学科が 提供する専門領域に 対する適性などを評 価。)	合計
	配点	100	50	100	50	100	200	600	

○栄養健康学科

日程	大学入学共通テスト(5教科7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から2科目	『英語』	化学基礎・化学	合計
	配点	200	100	100	200	200	200	300	1200
後期 3月12日	大学入学共通テスト(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』	化学基礎・化学 [100] 面接[200] (志望動機や将来の 展望などとともに、高 等学校の一般的学 習を前提とした栄 養・健康・生命科学 に関する時事的諸 問題についての理 解力や理科学的思 考力などを総合的に 問う。)	合計
配点	100	50	50	100	100	100	100	300	750

【注意事項】

① 大学入学共通テストの利用方法について

※以下、「」内記載のものは全て教科名

経営学科	「国語」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「数学」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を75点満점에換算、リスニング100点満点を25点満점에換算し、合計得点100点満点とします。
国際経営学科	「国語」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「数学」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「外国語」の『英語』は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点200点満点をそのまま利用します。
公共政策学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「数学」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を150点満점에換算、リスニング100点満点を50点満점에換算し、合計得点200点満点とします。
実践経済学科	「国語」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を150点満점에換算、リスニング100点満点を50点満점에換算し、合計得点200点満点とします。
国際社会学科	「国語」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「地理歴史・公民」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「数学」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「外国語」の『英語』は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点200点満点を100点満점에換算します。
情報システム学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を150点満점에換算、リスニング100点満点を50点満점에換算し、合計得点200点満点とします。

情報セキュリティ学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を150点満점에換算、リスニング100点満点を50点満점에換算し、合計得点200点満点とします。
看護学科	「国語」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「数学」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を75点満점에換算、リスニング100点満点を25点満점에換算し、合計得点100点満点とします。
栄養健康学科 (前期日程)	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を150点満점에換算、リスニング100点満点を50点満점에換算し、合計得点200点満点とします。
栄養健康学科 (後期日程)	「国語」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を50点満점에換算します。
	「数学」は、200点満点を100点満점에換算します。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目(100点(50点×2)満点)と基礎を付さない科目(100点満点)を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を75点満점에換算、リスニング100点満点を25点満점에換算し、合計得点100点満点とします。

②大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験しなかった場合は、個別学力検査等を受験できません。

③「外国語」の『英語』を受験する者は、リスニングを必ず受験してください。ただし大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。なお、リスニングの免除を許可された者については、リーディング(100点満点)を200点満점에換算し、各学科が定める配点に換算して利用します。

④「地理歴史・公民」又は「理科」の基礎を付さない科目において本学部・学科が指定している科目を第1解答科目として受験せず、第2解答科目として受験した場合は、出願資格を満たさないものとして取り扱います。

⑤栄養健康学科の個別学力検査等の化学基礎・化学は、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題する場合がありますが、必ず使用するとは限りません。また、入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

(4) 受験上の注意事項

- ① 受験者は、試験開始時刻20分前までに指定された教室に入室し、着席してください。
- ② 面接がある学科(前期日程：**看護学科**、後期日程：**看護学科**及び**栄養健康学科**)については面接開始前(看護学科15分前、栄養健康学科20分前)までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。※面接試験開始時に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ③ 筆記試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ④ 個別学力検査等において、本学が指定した科目等のいずれか一つでも受験しなかった者は入学者選抜の対象から除きます。

- ⑤ 当日は、**大学入学共通テスト受験票**及び**本学受験票**を必ず持参してください。
- ⑥ 当日に受験票を忘れた者は、試験場所定の仮受験票発行受付で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ⑦ 受験票は、筆記試験時に試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。
- ⑧ 試験時間中に使用を許可するものは、黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）に限ります。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ⑨ 試験室内での発言は、必ず挙手をして、監督者の許可を得て行ってください。
- ⑩ 試験時間内の退室は認めません。なお、発病等やむを得ない場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- ⑪ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。
- ⑫ 試験室内で英文字、地図等がプリントされている衣服等、試験実施に影響を与えるものを着用している場合は、必要に応じ脱衣等の指示に従っていただきます。
- ⑬ 試験中における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑭ 試験場では、昼食の販売を行いませんので、昼食は各自持参してください。
- ⑮ 試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。また、保護者等の待機場所もございません。
- ⑯ 試験前日の午後に限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
- ⑰ 面接がある学科について、面接試験終了時間は未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。
- ⑱ その他必要な事項が生じた場合には、志願者情報に登録されたメールアドレス又は大学のホームページから通知します。

(5) 不正行為について

- ① 次のことをすると不正行為となります。
 - ・出願確認票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（インターネット出願の際、本人以外の写真を使用することや、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - ・カンニング（試験に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ・「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）
 - ・「解答やめ。鉛筆を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。
 - ・試験時間中に使用を許可するもの以外のものや、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていること。

- ・試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ・試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ・試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ・その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- ③ 不正行為をした者及び監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験した試験の成績は無効とします。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合があります。

(6) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う受験上の注意事項

■試験前

- ①日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」等により各自感染防止に努め、体調管理には十分注意してください。
- ②日頃から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。
- ③試験日の1週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関を受診してください。

■試験当日

- ①症状の有無にかかわらず、試験場では昼食時以外は常にマスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ学生支援課学生グループに相談してください。）なお、マスクは各自で必ず持参してください。
- ②受験者控室は設けませんので、昼食をとる場合は、あらかじめ指示された時間内に自席で黙食してください。また、食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用してください。
- ③休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話は極力控えてください。
- ④試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。
- ⑤試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験者が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがある。）に相談するとともに、事前に学生支援課学生グループに電話でご連絡ください。また、上記に該当しないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。
- ⑥新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は受験できません。また、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は、他の受験者への感染のおそれがあるため、原則受験できません。
- ⑦ただし、無症状の濃厚接触者については、以下の要件を全て満たせば別室での受験を認めますので、事前に学生支援課学生グループに電話でご連絡ください。
 - ・自治体等によるPCR等検査の結果が、陰性であること
 - ・受験当日も無症状であること
 - ・公共の交通機関を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場まで来ることができること
- ⑧新型コロナウイルス感染症に罹患している者又は濃厚接触者等で受験できなかった者に対し、特別措置を実施しますので、34ページを確認してください。

■その他

- 他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことを検討してください。

6. 合格発表

前期日程	令和5年 3月 6日 (月) 10時
後期日程	令和5年 3月 21日 (火) 10時

合格発表日に合格者へ合格通知書を速達で発送します。また、本学ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。なお、電話での問い合わせには、一切応じません。

《ホームページアドレス》 <https://sun.ac.jp/>

※ ホームページ上の合格発表は補助的なものですので、必ず合格通知書で確認してください。

※ 本学では合格通知を無料で行っており、受験者に送料等を請求することはありません。

7. 入学手続

(1) 入学手続期間

前期日程	令和5年 3月 7日 (火) から3月15日 (水)	必着
後期日程	令和5年 3月 22日 (水) から3月27日 (月)	必着

(2) 入学手続先

【経営学部・地域創造学部】

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地
長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1
長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(3) 入学手続方法

- ① 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。
- ② 提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。
- ③ 入学手続の際は「**大学入学共通テスト受験票**」の提出が必要です。(大学入学共通テスト受験票は入学手続完了後、返却します。)
- ④ 郵送の場合は、必ず「簡易書留・速達」とし、入学手続期間内必着とします。
- ⑤ 持参の場合の受付時間は、平日の9時から17時までとします。
- ⑥ 一度受理した入学手続書類は返還しません。(大学入学共通テスト受験票を除く)

(4) 入学手続上の留意事項

- ① 本学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、他の国公立大学の後期日程を受験してもその合格者となることはできません。
- ② **合格者が入学手続期間内に手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取り扱います。**
- ③ 一つの国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)に入学手続を行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
※ ただし、本学に入学手続をした者で、3月15日(水)17時までに入学辞退を申し出て、本学の許可を得た場合は、この限りではありません。

8. 追加合格

令和5年3月27日（月）の後期日程入学手続締切日において、欠員が生じた場合には、令和5年3月28日（火）以降に合格者を追加します。

追加合格者の通知は、令和5年3月28日（火）から令和5年3月31日（金）までに本人あてに電話で行いますので、速やかに連絡がとれるように、また入学の意思について回答できるようにしておいてください。

追加合格実施については、本学ホームページで案内します。

※ 一つの国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）に入学手続を完了した者は、本学の追加合格者の対象とはなりません。

9. 受験上の配慮について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、令和5年1月16日（月）までに学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面談や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

10. 初年度納付金等 《保護者の方にも事前に目を通してもらってください》

(1) 入学料

県内生	「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の血族が、入学年度の前年の4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。	176,500円
県外生	上記以外の者をいいます。	353,000円

(注1) 入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注2) 入学料は、入学手続期間内に納付してください。

(注3) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(注4) 高等教育の修学支援措置の対象として採用された入学生には入学後、入学料を返還します。その手続きについては、令和5年3月～4月頃（予定）にお知らせします。

(2) 授業料

前 期	後 期	年 額
267,900円	267,900円	535,800円

(注1) 授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注2) 授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続書類とともに送付します。

(注3) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他納付金

学 部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経 営 地域創造	50,000円	22,000円	33,000円	4,660円
国際社会 情報システム 看護栄養	50,000円	10,000円	29,500円	4,660円～

(注) その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(4) 初年度納付金以外の経費（参考）【令和4年度実績】

入学料、授業料、教材費及びその他納付金以外に、1年次又は2年次以降に次の経費が必要となります。（納付時期等の詳細については入学後に説明します。）

①進級、卒業要件に係る資格試験等受験料

- ・ TOEIC IP 3,130 円/回 ・ TOEIC 公開テスト 6,710 円/回
- ・ 中国語検定（中検）3級 5,800 円/回 2級 7,800 円/回
- ・ 日経 TEST（企業・団体受験）4,400 円~/回
- ・ 日商簿記検定2級 4,720 円/回
- ・ F P 技能検定2級 5,700 円/回（学科試験）・6,000 円/回（実技試験）
- ・ 販売士検定 2級 5,770 円/回
- ・ ニュース時事検定2級 4,300 円/回
- ・ IT パスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験 7,500 円/回
- ・ CG-ARTS 検定（エキスパート）6,200 円/回

※要件に達するまでの費用がかかります。

②必修となる研修、課外講座等の費用（参考：海外研修については渡航した場合）

- ・ 経営学部 国際経営学科
 海外語学研修（1年次） 約 300,000 円～
 海外ビジネス研修（3年次） 約 250,000 円～約 350,000 円（場所、期間により異なる）
- ・ 地域創造学部 インターンシップ等の実践科目において、交通費等の実費がかかります。
- ・ 国際社会学部 国際社会学科
 海外語学研修（2年次） 約 200,000 円～約 500,000 円（場所、期間により異なる）

③実験、実習等の費用

④入学者全員に一定の基準にあったノート型パソコンを準備していただく予定です。（詳細は入学前に説明します。）

(5) その他（奨学金、授業料の減免等）

①高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等の減免（本学は対象校として認定されています））

本制度は住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学部生（留学生を除く）に対して、日本学生支援機構の給付奨学金の支給及び大学の入学料と授業料を減免することにより支援する制度です。採用された給付奨学金の支援区分（第Ⅰ～Ⅲ区分）に従い、入学料及び授業料について全額、2/3 の額、1/3 の額が免除されます。

②貸与奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金には、第一種奨学金（無利子貸与）と第二種奨学金（有利子貸与）があり、その貸与月額は、次表のとおりです。第二種奨学金は、その貸与額に対し年3%（上限金利）の利息がつきます。この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

種 類	貸 与 月 額（令和4年度実績）	
	自宅通学者	自宅外通学者
第一種奨学金 ※申込時における家計支持者の収入・所得金額によって、選択できる月額に制限があります。	20,000 円、30,000 円 45,000 円 (3種類から選択)	20,000 円、30,000 円 40,000 円、51,000 円 (4種類から選択)
第二種奨学金	20,000 円～120,000 円（1万円単位）の金額内で選択可能	

※ 給付奨学金と併せて第一種奨学金を利用する場合、給付奨学金の支給を受けている期間中に受けることができる第一種奨学金の月額に制限があります。

③下宿・アパートについては、本学大学生生活協同組合で相談に応じます。

TEL 佐世保校 0956-48-3732
シーボルト校 095-887-5552

11. 個別の入学資格審査

出願資格（8）にかかる本学の入学資格審査の対象者等は以下のとおりです。

なお、入学資格審査の申請手続等の詳細については、志望学部の学生支援課学生グループへお尋ねください。

（1）入学資格審査の対象者

令和5年3月31日までに18歳に達する者で次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は高等学校段階を有する外国人学校を令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 中学校卒業者で、各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

（2）申請締切日

令和5年1月16日（月）必着

12. 入試情報開示

（1）出願状況

令和5年度選抜の出願状況は令和5年1月27日（金）より本学ホームページ上で公開します。

《ホームページアドレス》 <https://sun.ac.jp/>

（2）個人成績の開示

令和5年度一般選抜受験者の個人成績を開示します。

申請期間、申請方法等の詳細は、今後大学ホームページに掲載します。

- 開示内容
- ① 大学入学共通テストの教科ごとの得点
（本学が判定に使用した教科のみ）
 - ② 個別学力検査等の得点
 - ③ ①+②の総得点及び順位
 - ④ 調査書（「指導上の参考となる諸事項」及び「備考」欄を除く）

※特別措置（34ページを参照）を申請した場合は、個人成績の開示はできません。

（3）合格者の成績

令和5年度一般選抜における合格者の得点の最高点、最低点、平均点を令和5年5月頃から開示します。ただし、合格者が10名未満の学科・日程（入試）区分については、開示しません。

（4）過去の入試状況

本学HP（入試情報／学部入試／過去の入試情報／入試状況）に掲載しています。

13. 評価・合否判定基準

(前期日程)

学部	学科	科目等	評価基準	合否判定基準
経営	経営 国際経営	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
地域創造	公共政策 実践経済	英語 または 数学	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
国際社会	国際社会	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	数学	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
看護栄養	看護	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の面接の得点が上位の者 ②個別学力検査等の英語の得点が上位の者
		面接	調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価する。 面接は個人面接を行う。	
	栄養健康	化学基礎・化学	高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の化学基礎・化学の得点が上位の者 ②大学入学共通テストの理科の得点が上位の者

(後期日程)

学部	学科	科目等	評価基準	合否判定基準
経営	経営	小論文	課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
	国際経営	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
地域創造	公共政策	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
	実践経済	小論文	課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
国際社会	国際社会	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	数学	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
看護栄養	看護	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の面接の得点が上位の者 ②個別学力検査等の英語の得点が上位の者
		面接	調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価する。 面接は個人面接を行う。	
	栄養健康	化学基礎・化学	高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価する。	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の化学基礎・化学の得点が上位の者 ②大学入学共通テストの理科の得点が上位の者 ③個別学力検査等の面接の得点が上位の者
面接		志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問う。 面接は、集団または個人面接を行う。		

14. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮等

令和5年度入学者選抜（令和4年度実施）において、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、以下のとおり取り扱います。

（1）特別措置の実施について

新型コロナウイルス感染症に罹患している又は保健所から濃厚接触者（※）に該当するとされ、一般選抜（前期日程・後期日程）の個別学力検査等を受験できなかった場合は、大学入学共通テストの得点、出願書類の内容を総合的に判定して可否を決定します。

※無症状の濃厚接触者については、要件を全て満たせば別室での受験を認めることがあります。

詳細は27ページを確認してください。

（2）特別措置の申請方法

①はじめに電話で連絡してください。

【受付期間】

<前期日程>

令和5年2月20日（月）～2月22日（水）、2月24日（金）（9：00～17：00）、
令和5年2月25日（土）（8：30～11：30）

<後期日程>

令和5年3月6日（月）～3月10日（金）（9：00～17：00）、
令和5年3月12日（日）（8：30～11：30）

【連絡先】

経営学部、地域創造学部

長崎県立大学 佐世保校学生支援課学生グループ TEL：0956-47-5703

国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部

長崎県立大学 シーボルト校学生支援課学生グループ TEL：095-813-5065

②申請に関する書類を提出してください。

【提出書類】

・特別措置申請書

【添付書類（例）】

・新型コロナウイルス感染症に罹患または発熱や呼吸困難などの症状があることが明記されている医師の診断書（濃厚接触者を除く）。提出期限に間に合わない場合は必ず事前に相談すること。

・保健所長が発行した健康診断勧告書の写し（濃厚接触者のみ）等

※「特別措置申請書」の様式は大学ホームページに掲載します。

(<https://sun.ac.jp/examination/department/admissions/>)

【提出期限】

<前期日程>

令和5年2月27日（月）17：00 必着

<後期日程>

令和5年3月13日（月）17：00 必着

※特別措置申請書の提出方法については学生支援課からお知らせします。

15. 個人情報の利用

- (1) 出願書類により取得した個人情報は、入学者選抜業務のために利用します。
また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は学籍登録業務のために利用します。
- (2) 出願書類により取得した高等学校等の成績及び入学試験の成績は、授業料等減免業務、奨学生への推薦業務、教務関係業務及び教育改善・学生支援のために利用することがあります。
- (3) 出願書類により取得した個人情報及び入学試験により取得した個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用します。